

鹿島市民文化ホール開館記念式典 市長あいさつ（要旨）

本市の新たなシンボルとなる鹿島市民文化ホール SAKURAS(サクラス)の開館記念式典に多数お集まりいただきありがとうございます。

いよいよ歩み始めるこのホールは、ご来賓の皆さま、その準備、設計、建設にかかわった方、ご支援ご協力をいただいた方など、多くの皆様のおかげにより本日を迎えることができました。誠にありがとうございます。

この市民文化ホールは、文化芸術の交流や市民相互の絆を深める場所として、また市外県外からも利用していただく施設として完成しました。様々な機能や特徴をもつこのホールは、音楽、舞踏、演劇、映画など多種多様な文化芸術の鑑賞が可能となっています。

また、「鹿島らしさ」を表した施設でもあります。館内各施設の表示には、市内の工芸品を活用し、併設するふるさと資料館と合わせて、鹿島市の歴史、文化その他、貴重な資料など鹿島の魅力を発信する場にもなっています。

このホールの愛称である SAKURAS（サクラス）は、「CIRCLE+US」CIRCLE（施設の形が丸いこと）、US（私たち市民が集い、活動する場所となること）、SAKURA（市の花が桜）であること。この3つから考えられています。この愛称のように、私たちが集まり、そして皆様の活動の場所として使っていただくことが、「まちの晴れ舞台」をコンセプトに建てた市民文化ホールの最も有効な活用方法であると考えております。

鹿島市は来年 2024 年、市制施行 70 周年を迎えます。SAKURAS のオープンは、新たな「次代」へのスタートでもあります。今後、この鹿島市民文化ホール SAKURAS が皆様から愛され、親しまれる施設となるよう取り組んでまいります。今後とも引き続き、皆様の変わらぬ温かいご支援とご協力をお願いいたします。

令和 5 年 9 月 10 日

鹿島市長 松尾 勝利